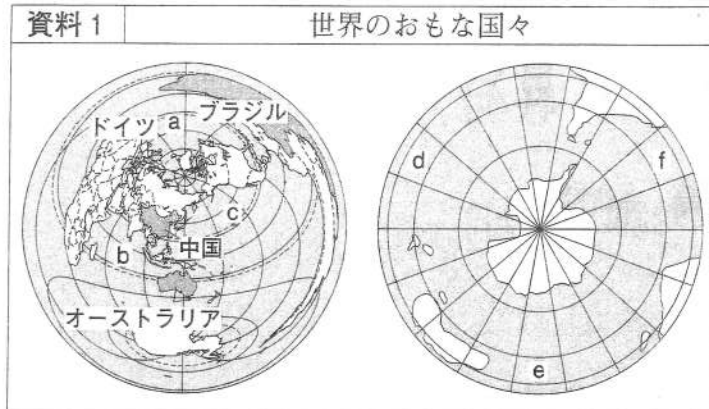


1 美紀さんのクラスでは、地理的分野で学習したことを、授業で発表することになりました。

1 美紀さんは、「世界のおもな国々」というテーマで、資料1を作成しました。後の(1)~(5)の問いに答えなさい。



資料2 ブラジル、ドイツ、中国、オーストラリアの出生率と死亡率 (2015年)

	出生率	死亡率
ア ブラジル	14.5	6.2
イ ドイツ	9.1	11.4
ウ 中国	12.1	7.1
エ オーストラリア	12.8	6.5

※出生率、死亡率は人口千人当たりの数値である
オーストラリアは2014年の数値である
中国には台湾、香港、マカオを含まない
〔世界国勢図会 2017/18〕より作成

(1) 資料1の地図中のa~cとd~fは、三大洋のいずれかです。同じ大洋の組み合わせとして最も適切なものを、次のア~カから1つ選び、記号で答えなさい。

ア a-d イ a-e ウ b-e エ b-f オ c-e カ c-f

(2) 資料2のア~エのうち、今後、人口が減ると予想される国を1つ選び、記号で答えなさい。

(3) 美紀さんは、資料1のブラジル、ドイツ、中国、オーストラリアの国内総生産と1人当たりの国内総生産を調べ、資料3を作成し、次のようにまとめました。次の□に入る適切な内容を書きなさい。

資料3 ブラジル、ドイツ、中国、オーストラリアの国内総生産と1人当たりの国内総生産 (2015年)

	国内総生産 (千億ドル)	1人当たりの国内総生産 (千ドル)
ブラジル	18	9
ドイツ	34	42
中国	112	8
オーストラリア	12	51

※中国には台湾、香港、マカオを含まない
〔世界国勢図会 2017/18〕より作成

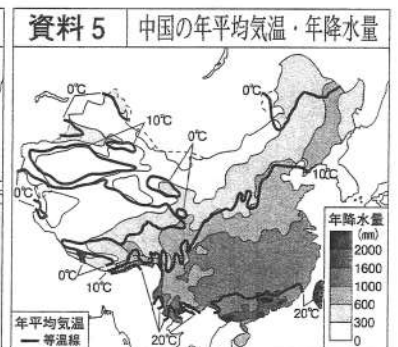
美紀さんのまとめ (一部)
ブラジル、ドイツ、中国、オーストラリアのうち、中国は□のため、国内総生産が最も多いにもかかわらず、1人当たりの国内総生産は最も少なくなっていることがわかる。

(4) 資料1のブラジルの赤道付近など、一年を通じて気温が高く、季節の変化がほとんどない地域に見られる、うっそうとした森林を何というか、書きなさい。

(5) 美紀さんは、資料1の中国の農業について調べていく中で、資料4、5を見つけ、地域によって行われる農業にちがいがあることを知りました。中国ではおもにどのような地域で稲作が行われているか、資料4、5をもとに、年平均気温と年降水量の2つの点にふれながら書きなさい。

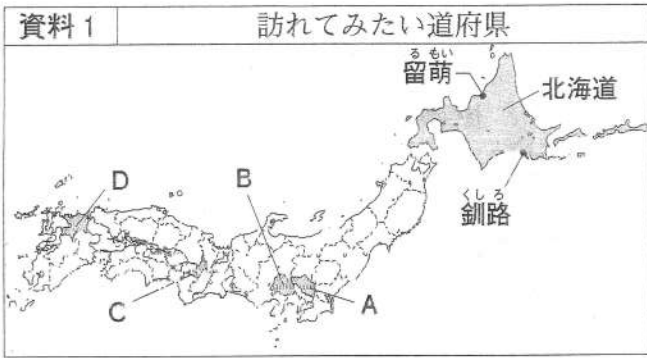


〔中国地図集〕他より作成



〔中国地図集〕他より作成

2 透さんは、「訪れてみたい道府県」というテーマで、資料1を作成しました。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

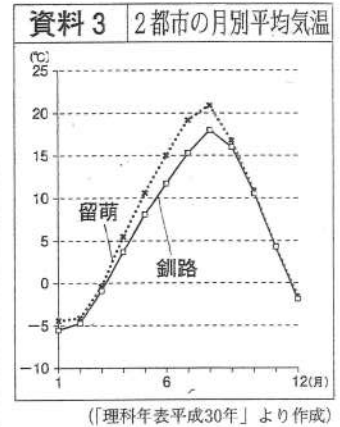


資料2 4府県の農業産出額、製造品出荷額等、海面漁業漁獲量 (2014年)

	農業産出額 (億円)	製造品出荷額等 (億円)	海面漁業漁獲量 (t)
ア	797	21488	
イ	1902	125104	—
ウ	320	167336	18604
エ	2170	84762	27602

※「—」は皆無であることを示している
〔データでみる県勢 2017〕より作成

- (1) 資料2のア～エは、資料1のA～Dの4府県のいずれかです。AとCに当たるものをア～エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。
- (2) 資料1のBの府県の府県庁所在地名を書きなさい。
- (3) 透さんは、資料1の北海道の2都市について調べ、資料3を作成し、次のようにまとめました。①、②に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

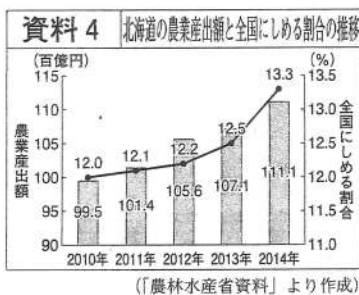


透さんのまとめ① (一部)

夏の北海道では、暖かい空気を含んだ季節風が寒流の①によって冷やされ、太平洋側で濃霧が発生しやすくなる。そのため、日本海側の地域に比べて太平洋側の地域は、夏でも気温が②という傾向が見られる。

- ア ①—親潮 (千島海流) ②—高い イ ①—親潮 (千島海流) ②—低い
- ウ ①—黒潮 (日本海流) ②—高い エ ①—黒潮 (日本海流) ②—低い

- (4) 透さんは、北海道の農業について調べていく中で、資料4、5、6を見つけ、下のようにまとめました。資料4、5、6をもとに、ア、イ、ウに入る適切な内容を書きなさい。



資料6 おもな農産物の全国生産量に占める北海道の割合の推移 (%)

農産物	2013年産	2014年産	2015年産
じゃがいも	77.9	78.0	79.2
小麦	65.5	64.7	72.8
たまねぎ	54.4	59.2	64.6
かぼちゃ	50.0	48.3	49.8

〔データでみる県勢 2017〕他より作成

透さんのまとめ② (一部)

資料4より、2010年から2014年にかけて、北海道の農業産出額とその全国に占める割合は、ア ことがわかる。また、資料5より、北海道の農業はイ、資料6より、おもな農産物の全国生産量に占める北海道の割合がウ ことがわかる。